

## 宇都宮大学国際学部の留学生との交流

平成27年6月16日(火)7限目、高校1年生の「CTP」の授業の一環として、宇都宮大学国際学部の留学生との交流会が行われました。留学生4名(コスタリカ、ドイツ、アメリカ、スリランカ)と国際学部で帰国子女(ドイツ)や留学経験(アメリカ)のある日本人学生4名に来ていただき、クラスごとに、留学生と日本人学生のペアとの交流を行いました。

交流のテーマは、「**ステレオタイプを打ち破れ!**」日頃、抱いている外国(例えば、ドイツ)の「型にはまった」イメージを、話を聞いたり質問をしたりすることを通して打ち破る。そのために、どんな質問をしたらよいか、を生徒たちは考えました。意外な発見に、新たな扉を開くことができた生徒もいたようです。さらに、放課後、生徒有志による交流が続けられました。



4組(ドイツの留学生)



放課後の生徒有志による交流



「とちぎテレビ」のHPより(当日は「とちぎテレビ」の取材がありました。HPから映像を見ることができます。)

### 生徒の感想 (1年1組 猿山綾乃)

I was surprised to know there are many differences in our images to America. For example, I thought many Americans like fast food, but her host family liked slow food such as vegetables. From this experience, I learned that it is better to judge by their personality, even if we have differences in terms of our nationality.



国際交流を行う生徒たち

## 宇大留学生と交流

佐野高生 各国の魅力学ぶ

【佐野】世界各国の文化や魅力を学ぼうと佐野高は16日、宇都宮大国際学部留学生を招き、国際交流を行った。米国やコスタリカ、ドイツなどの留学生4人と帰国子女や留学経験のある同大の日本人学生4人が1人ずつ、1年生の4クラスを訪れた。

生徒たちは、クラスに各留学生の国旗などを飾って出迎えた。留学生たちは、自国の文化や習慣を英語で説明。和製英語についてのクイズなどを通して交流を深め、事前に各国の研究を行っていた生徒たちは、英語で質問をぶつけた。

コスタリカ出身の同大学院1年ロニー・パルガス・ビジャロボスさん(34)は「生徒たちは少し緊張しておとなしかったけど、礼儀正しく良い子たちだった。自分も楽しむことができた」と笑顔。同高1年の田部井萌伽さん(15)は「いろんな国について興味が出て、留学したいという思いが強くなった」と話した。

(岩崎駿祐)

(平成27年 6月19日 下野新聞)